

まちの概要

遠軽町は、北海道の北東部、オホーツク管内のほぼ中央、内陸側に位置しており、東西47キロメートル、南北46キロメートルにわたる緑豊かな町です。

遠軽（えんがる）という地名は、町のシンボルである瞰望岩（がんばろういわ）をアイヌ語で「インカルシ（山頂から視界の広い、見晴らしのよい）」と呼ぶことから由来しています。

■人口

1万9984人（平成30年12月末現在）

■面積

1332・45平方キロメートル

（全国の市区町村で8番目、町村では2番目の広さを誇ります）

■沿革

平成17年10月1日に、遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村の4町村が合併し、新たな「遠軽町」として誕生しました。

気候の特色

遠軽町の気候は、夏季には梅雨や台風の影響を受けることが少なく、7月～8月は晴天の日が長く続きます。

また、最高気温が30度を超えることもありますが、8月の平均気温は19・9度（平成21年～平成30年）と比較的涼しく湿度も低いことから、本州に比べると快適に過ごすことができます。

冬季は、北西の季節風の影響などを受け、マイナス20度を下回ることも珍しくありません。

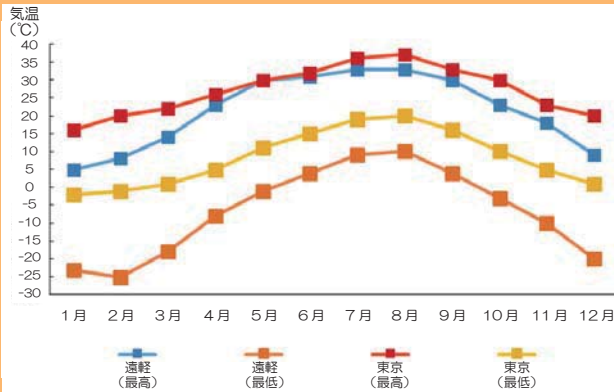
また、降雪量は町内の地域によって大きく異なりますが、本州日本海側の豪雪地帯に比べ、雪質は軽く少ない量です。

年間を通してメリハリのある季節が感じられ、四季折々の風景を楽しみながら、季節に合わせたさまざまなレジャーで心身ともにリフレッシュすることが出来ます。



畑に咲く「キカラシ」の花と
澄みわたる夏の青空

月ごとの最高気温・最低気温
（平成21年～平成30年の平均値）



月ごとの平均気温と平均降水量
（平成21年～平成30年の平均値）



自然災害について

遠軽町は、これまでの観測史上で震度4を超える地震の発生はありません（平成30年12月末現在）。

さらに、今後30年以内に震度6強以上の大地震が発生する確率もほとんどの地域で0・1パーセント未満（地震調査研究推進本部予測値）と非常に低く、これに加えて最寄りの海岸からも約20キロメートル内陸に位置しているため、津波被害についても低確率となります。

また、本州に比べ台風の影響を受けにくい地域であり、年間降水量も少ない町です。



「見晴牧場」から望む遠軽市街地の風景